



RSR オーガニックファーム



2017



活動紹介

RISINGSUN ROCKFESTIVAL in EZO(以下RSR)で出た生ごみを自分たちの手でリサイクル！この生ごみを、RSR会場の石狩にある牧場より牛糞と共に畑へ運搬し、混ぜて何度も攪拌。1年後にできた堆肥を使用してじゃがいもを作ります。このじゃがいもをRSRで来場者の手に渡し、食べ残しを減らすメッセージを伝えます。こんな「見える循環」を石狩市にある「はるきちオーガニックファーム」の一角で実践しています。

2017年総括



今年度も沢山のボランティア、ツアー参加者と一緒に活動をする事が出来ました。昨年に比べ、畑の活動では様々な野菜のお世話を体験する機会がより多くあり、日常では見ることのない畑での野菜の姿に、参加者からは新たな発見などの声も。接する野菜によって毎回違う楽しさがあります。また味噌作りなどプロジェクトとしては初めての体験も行い、食べることについて考える場面に恵まれた1年間でした。今までの活動を次年度に確実に繋げ、より広がりのある活動にレベルアップしていきたいです。(すみのふ)

目的・背景

食事をする上で気づかない食品の廃棄、食品ロス。その中でも過剰除去が大きな問題となっている。その原因として錯綜する農業等の情報や信頼の低さが挙げられる。今後豊富な食資源を維持していくにも土作りが必要となり、その点オーガニック農法はそれらに貢献出来ると考える。体験ツアーやイベントでのメッセージ発信の実施により、消費者が農業、オーガニック、食の循環等を体験出来る機会を提供。オーガニック野菜や身近で生産された野菜の購入、更に生産の場へ参加する文化を作る事を目的とする。

実施内容

活動・回数・参加人数

- ・RSRオーガニックファーム体験ツアー(種芋まき、草取り、収穫など) 18回 のべ101名
- ・RSR来場者へ向けたじゃがいもの無料配布 8回 のべ359名
- ・アースディ東京出店(ふかしいもの販売) 1回
- ・合計27回 のべ464名

ほか

- ・生ごみの堆肥化
- ・RSRじゃがいもの収穫
- ・RSRでのじゃがいも無料配布量(小さいも含) 410個

成果

RSRでは目標以上の359名にじゃがいもを配布。また、新たな試み、小さいじゃがいもを来場者へ配布し自ら焚火で焼いて食べて貰うという企画も実施。多くの来場者に食の循環を身近に感じて貰う事ができた。また事前にメディアで知り配布活動へ来てくれた来場者もいた。今年度は新たな取り組み、「鶏の命をいただく体験」「味噌作り体験」を行い、実際に活動をし普段何気なく食べる食べのものが作られるまでの過程を学べた。全体では参加者より「畑に行ったら食の循環を知れた」「食品ロスを減らしたい」という声が聞けた。

声

ボランティア(20代女性)

思っていたよりも収穫の作業は難しく、自分で実際にやってみなきゃ気づけないことがたくさんありました。実際に畑に行くからこそ、自然と興味を持っている自分にも気づくことができ、参加してよかったと思いました。

ボランティア(20代男性)

自分自身味噌作りは初めてだったので面白かったです。この後の工程が大変なかもしれないと思ったよりも簡単に作れることがわかってよかったです。幼稚園の子でも年長さんなら工夫次第で楽しみにながら全行程できることがわかった。機会があれば、やってみたい。



RSRオーガニックファーム体験ツアー



RSR出店



9月に収穫したじゃがいも



味噌作り